



御所市長 東川 裕

持続可能な  
地方都市としての  
まちづくり

平素より市政運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成20年に御所市長に就任いたしました12年と6か月が経ちました。就任直後には財政の非常事態宣言を出し、市民の皆様にも大変なご苦労とご不自由をおかけし、肅々と財政の健全化に努めて参りました。しかし、平成29年度には、直近45年間の人口減少率(32%以上減少)という判断基準から過疎地域としての指定を受けました。ただし、これは御所市にとつて決してマイナスなことではなく、過疎地域自立促進特別措置法に規定される過疎対策事業債の活用なども見込めることから、逆に、御所市がまちづくりを進める最大のチャンスであると捉え、駅前周辺の大きな拠点と市内各地域の特色を活かした小さな拠点づくりによる、持続可能な地方都市を目指します。

**都市機能の向上**

**住環境の充実**

**観光、交流の促進**

**歴史文化の継承**

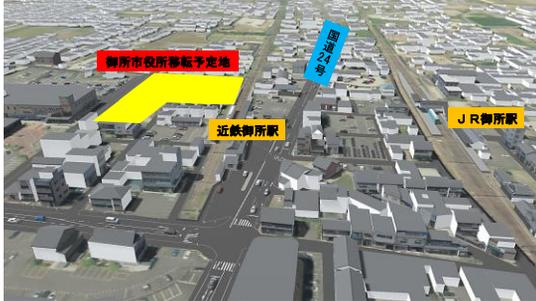
平成29年4月に奈良県と「御所中心市街地地区のまちづくり基本協定」を締結いたしました。また、併せて奈良県、近畿日本鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社の4者で「御所中心市街地のまちづくりに関する連携協定」も締結し、市の玄関口ともいえる近鉄御所・JR御所駅周辺の利便性の向上、並びににぎわい創出を目指したまちづくりに取り組みしており、現在、「御所中心市街地地区まちづくり基本計画」策定の最終段階となっております。

利便性が高く、暮らしやすさを誰もが実感できる

若年層の流出による出生率の低下や高齢化率が約40%である御所市の課題解決に向けた駅前周辺整備を考えるうえで、近鉄御所駅西側に位置する市有地の有効活用こそが市の玄関口としてのポテンシャルを最大限に引き出せると確信いたしました。

そこで、この市有地の活用として、築60年以上経過し、老朽化した御所市役所の移転先の候補地として位置づけ、まちづくり基本計画にも盛り込んでいく調整を進めており、その第一歩として昨年の12月の御所市議会定例会で、「御所市役所の位置を定める条例の一部改正」について議決をいただきました。

御所市の魅力を最大限に引き出す  
駅周辺のハード整備



今後、まずは御所市の玄関口である近鉄御所駅前周辺エリアにおいて、市役所を核とする1つの大きな拠点としての道路や施設、環境の整備に着手していきます。また、市内各地域にも自然、歴史、観光、産業などの集い・にぎわいの拠点となり得る場所が数多くあることから、各地域が持つ特色をしっかりと活かす形で小さな拠点づくりを順次進めていき、将来にわたり持続可能な地方都市としてのまちづくりに取り組んでいきたいと考えます。

※今後も“御所市のまちづくり”につきましては、その方向性や進捗状況などを定期的に広報御所などで広く市民の皆様にお示しして参りたいと考えております。

- ◆問い合わせ
  - 市庁舎に関すること・・・管財課 ☎44-3012
  - 御所駅周辺整備に関すること・・・まちづくり推進課 ☎44-3168